

(株)板生ファーム 監査役

衣川 淳さん

「この地域の農業を守るために5人で立ち上げた法人。これからも地域を支える要として、維持していかなければならない」と語るのは、福知山市夜久野町板生地区の「(株)板生(いとう)ファーム」監査役の衣川淳さん(71)。

同地区は、市北西部に位置し、兵庫県朝来市に隣接する農村に水田が広がっている。高齢化が進む中、地域の水田を守るため、20年ほど前に地区内の中田・三谷・上町の3集落で板生口営農組合・機械組合をつくり、田植えや稲刈りなどの農作業受託を行ってきた。

しかし、今後の農業機械の更新や維持が課題となり、市に相談したところ、府の「京力農場プラン」

明日へ向かって駆ける

農業法人の経営者は語る

の発展型として法人化することで農業機械の導入に対して支援が受けられることを知り、2013年10月に5人の有志で同社を立ち上げた。

現在は、3・2畝の農地で、その9割を占める米を中心に、万願寺甘とうや紫すきん、ヤマブキなどを栽培し、野菜類はJAに出荷している。田植え・稲刈り・乾燥などの作業を地元農家のほとんど

に当たる40戸から委託されている。

設立当初から中心となって、法人経営に携わる衣川さんは「高齢化が進み後継者を確保するのは難しい。年々預かる農地や作業受託も増えているので、これからは地域の方にも協力してもらわないと会社を維持できない」と現在の悩みを話す。

水稻中心の経営をしているが、



▶ 地域農業のために頑張る衣川さん

地域農業 次代に継ぐ

法人設立から4期目を迎え転換期に来ている。「単に手を広げるのではなく、今後はしっかり見極めて、良いものを一つ一つ作ってきたい。労力面や経営面では厳しいことも予想されるが、これからの法人経営の柱になる作物を作っていきたい」と衣川さんは言う。

また、「ブドウ栽培や、万願寺甘とうの栽培などがこの地域で増えてきているので、参考にしたい。定年退職した人が、すぐに収入を得るための一つとして働きに来てもらえるような会社として取り組んでいきたい」と、地域農業の将来に向かって、今後も励む意思を見せた。

.....

■法人所在地 福知山市夜久野町板生2784の5。(電)0773(388)0985(松本代表宅)。

■法人概要 2013年10月設立。経営面積 3・2畝(コシヒカリ2・8畝、紫すきん26畝、万願寺甘とう5畝、ヤマブキ8畝、ジャガイモ・玉ねぎ・ニンニク等の野菜5畝など)、農作業受託8畝。農業機械 トラクター3台、コンバイン・田植え機各2台、フォークリフト1台、米乾燥機5台、もみすり機1台。